

成果指標の達成状況の確認

現計画の策定時に、計画の進捗状況を把握するため成果指標を設定している。ここでは、この成果指標に沿って現時点での達成状況を確認する。成果指標の達成状況の確認結果の確認結果は以下のとおり。

現状のまま推移すると想定した場合、現計画の策定時と現在の状況が異なっていることなどから、一部指標では計画終了年の令和12年時点でも目標を達成しない可能性がある。新たな施策の実施により目標達成に向けて取り組みを強化するとともに、必要に応じて実態に合わせた目標値の見直しも検討する。

御意見をいただきたい事項

○成果指標の内容及び算出結果について、質問があればいただきたい。

現計画の成果指標及び目標値						指標等の見直し事項	現時点における目標達成見込み ※一部指標については、指標の見直しを行っている						今後の対応方針		
施策の基本方針	基本交通施策	指標	単位	策定時の値	目標値		単位	策定時の値 濃青： 見直し項目	目標値 濃青： 見直し項目	現況値	現時点での 目標達成	R12年度の 目標達成見込み ※現状のまま推移した場合		指標の状況	
1 公共交通が利用しやすく、環境にやさしい交通機関の整備	11 効率的な公共交通ネットワークの実現	111 ミニバス利用者	(万人/年)	75 (H21)	80 (R12)	【指標の見直し】 ・各年次での運行本数や運行距離の違いを考慮し、指標を運行距離当たりの乗車人数(人/km)に変更	(人/km)	3.74	3.98	3.34			・運行距離当たりの乗車人数は、目標を達成しない可能性がある。 ・新型コロナウイルスの影響でR2年度の利用者は67.2万人/年まで減少している。	・路線の延伸により、運行距離当たりの利用者数は減少している。また、新型コロナウイルスの影響により特に減少がみられる。今後も引き続き利用促進を図る必要がある。	
		112 公共交通利用数	(万回/年)	31.6 (H20)	35 (R12)	【策定時の値の見直し】 ・H20PT調査確定値を用いて見直し	(万回/年)	75.0 (H21)	80.0 (R12)	97.3 (R1)			・トリップ数の減少や新型コロナウイルスの影響等から、目標を達成しない可能性がある。	・総トリップ数減少による影響を考慮して、公共交通分担率向上とあわせて、利用者促進を図っていく必要がある。	
		113 公共交通分担率 (代表交通手段)	(%)	35.0 (H21)	35 (R12)	【策定時の値の見直し】 ・H20PT調査確定値を用いて見直し	(%)	35.2 (H20)	35.2 (R12)	38.3 (H30)	○	○	・すでに目標を達成している。		
		114 公共交通に対する満足度	(%)	76.8 (H21)	80 (R12)		(%)	76.8 (H21)	80.0 (R12)	80.6 (R2)	○	○	・既に目標を達成しているが、年度ごとの満足度に差がある。	・目標に向けて、引き続き対応を行う。	
	12 公共交通利用環境の整備	121 歩道のバリアフリー化率	(%)	26.7 (H21)	100 (R12)	【策定時の値・目標年次の見直し】 ・策定時の旧交通バリアフリー特定事業計画がH22年度で目標年次を迎えたことを考慮し、H23年度に策定された現計画に沿って見直し	(%)	24.9 (H24)	— (R2)	54.8 (R2)		—	・現計画の目標年次がR2年度である。 ・現時点では目標を達成していない。	・目標年次が終了しており、新たな計画に基づき目標値の見直し等の必要がある。	
	13 環境にやさしい自動車利用の実現	131 運輸部門CO ₂ 排出量	(万t-CO ₂)	17.8 (H2)	10 (R12)	【基準年・目標値の見直し】 ・地球温暖化対策実行計画が改定されたことを踏まえ見直し	(万t-CO ₂)	14.0 (H25)	9.1 (R12)	12.2 (H29)		○	・策定時よりCO ₂ 排出量は減少しており、このまま推移すると、目標を達成する可能性がある。	・目標に向けて、引き続き対応を行う。	
		132 自動車分担率 (代表交通手段)	(%)	16.0 (H20)	16 (R12)		(%)	16.0 (H20)	16.0 (R12)	12.0 (H30)	○	○	・すでに目標を達成している。	・目標に向けて、引き続き対応を行う。	
	2 適切に機能分担された快適な道路整備	21 選択・集中による重点的な幹線道路網の整備	211 都市計画道路整備率	(%)	46.9 (H21)	60 (R12)		(%)	46.9 (H21)	60.0 (R12)	54.1 (R2)		○	・このまま推移すると、目標を達成する可能性がある。	・現在の道路整備計画に基づく指標に見直しを行うことが考えられる。
		22 地域特性に応じた生活道路網の整備	212 生活道路網整備率	(%)	30.1 (H21)	38 (R12)	【目標値の見直し】 ・整備計画が改定されたことを踏まえ見直し	(%)	30.1 (H21)	— (R2)	52.5 (R2)		—	・現計画の目標年次がR2年度である。 ・現時点では目標を達成していない。	・目標年次が終了しており、新たな計画に基づき目標値の見直し等の必要がある。
	3 歩行者・自動車が安全・安心に移動できる環境整備	31 自転車利用環境の整備	311 自転車走行空間の満足度	(%)	29.0 (H21)	60 (R12)		(%)	29.0 (H21)	60.0 (R12)	34.5 (R2)			・年度ごとの満足度に差があり、推移に留意する必要がある。	・目標達成に向けてさらなる対応が必要である。
312 自転車走行空間の整備延長			(km)	10.4 (H21)	25 (R12)	【目標値の見直し】 ・整備計画が改定されたことを踏まえ見直し	(km)	10.4 (H21)	61.5 (R12)	36.2 (R2)			・策定時より整備は進んでいるが、このまま推移すると、目標を達成しない可能性がある。	・目標達成に向けてさらなる対応が必要である。	
313 適正な自転車等駐車場の整備済駅数			(駅)	5.0 (H22)	9 (R12)		(駅)	5 (H22)	9 (R12)	7 (R2)		○	・策定時より整備は進んでおり、目標を達成する可能性がある。	・目標に向けて、引き続き対応を行う。	
32 安全・安心な歩行空間の確保		321 道路が安全と感じる市民の割合	(%)	49.2 (H21)	70 (R12)		(%)	49.2 (H21)	70.0 (R12)	54.4 (R1)			・年度ごとの満足度に差があり、推移に留意する必要がある。	・目標達成に向けてさらなる対応が必要である。	
		322 歩行空間の満足度	(%)	58.0 (H21)	70 (R12)		(%)	58.0 (H21)	70.0 (R12)	65.5 (R2)		○	・年度ごとの満足度に差があり、推移に留意する必要がある。	・目標に向けて、引き続き対応を行う。	
4 活力・魅力を支える中心市街地（駅周辺）の形成	41 中心市街地がにぎわっていると感じている市民の割合	41	(%)	52.3 (H21)	65 (R12)		(%)	52.3 (H21)	65.0 (R12)	75.0 (R2)	○	○	・既に目標を達成しているが、年度ごとの満足度に差があり、推移に留意する必要がある。	・目標に向けて、引き続き対応を行う。	
		42 中心市街地内3駅利用者数	(人/日)	169,116 (H21)	176,000 (R12)		(人/日)	169,116 (H21)	176,000 (R12)	185,562 (R1)	○	○	・すでに目標を達成している。	・目標に向けて、引き続き対応を行う。	
		43 中心市街地歩行者通行量	(人/日)	36,963 (H20)	37,000 (R12)	【指標の見直し】 ・現況値の把握が困難なことから、パーソナルトリップ調査による算出方法に見直し（代表交通手段）	(万回/年)	10.2 (H20)	10.2 (R12)	10.4 (H30)	○	○	・すでに目標を達成している。	・目標に向けて、引き続き対応を行う。	